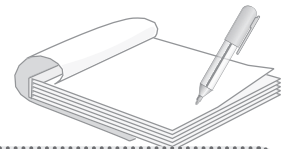


日本PTA・教育に関する保護者の意識調査

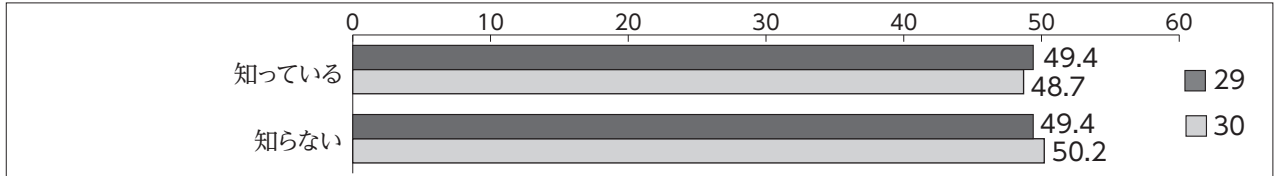


- 1 回答数 全国の小学5年生の保護者 (2,211 人)、中学2年生の保護者 (2,146 人)
岩手県の調査協力校は矢巾町立煙山小学校と矢巾中学校
- 2 集計 平成 30 年 9 月

調査結果 (一部抜粋)

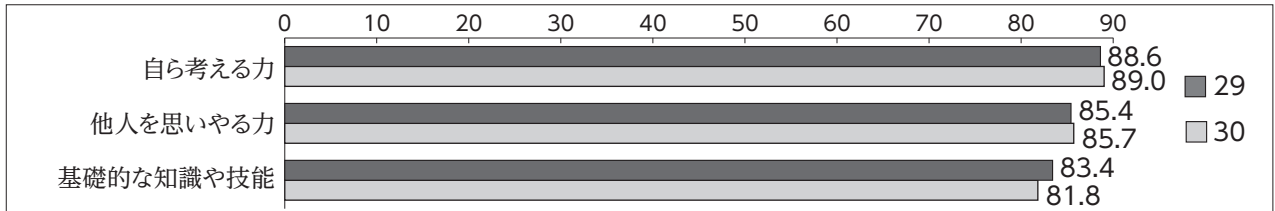
1 学校教育について

【問 1】子どもの学校の今年度の学校教育目標など、学校が取り組もうとしていることを知っていますか。



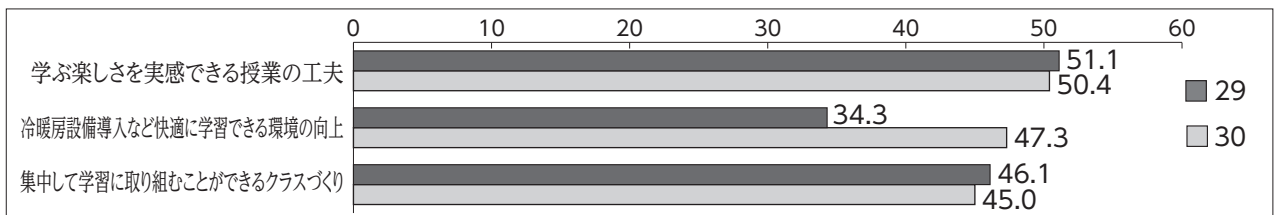
◆学校が取り組もうとしていることについての認知度は、年々低くなっている。

【問 2】子どもにどのような力を身につけさせたいですか。(上位項目)



◆上位 3 項目は昨年度と同じだが、「知識や技能」の割合が少なくなっている。

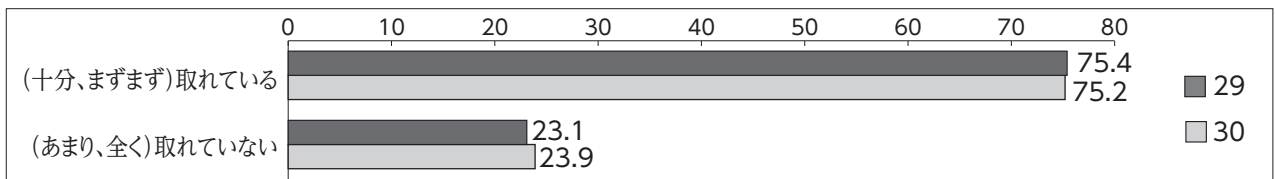
【問 4】子どもの学力向上のために学校に求めたいことは何ですか。(上位項目)



◆近年の気温上昇の影響のためか、「冷暖房設備」の導入を求めているのが特徴的である。

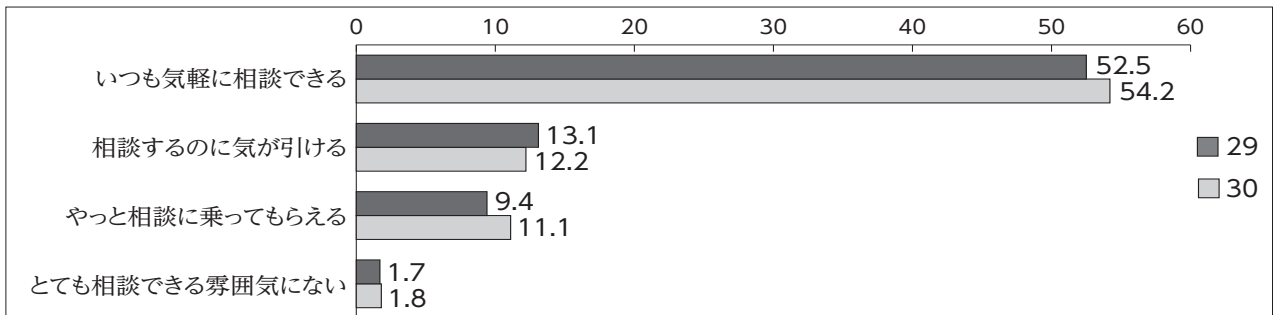
2 家庭と学校の関係について

【問 8】あなたの家庭と学校は、必要なコミュニケーションが取れていると感じていますか。



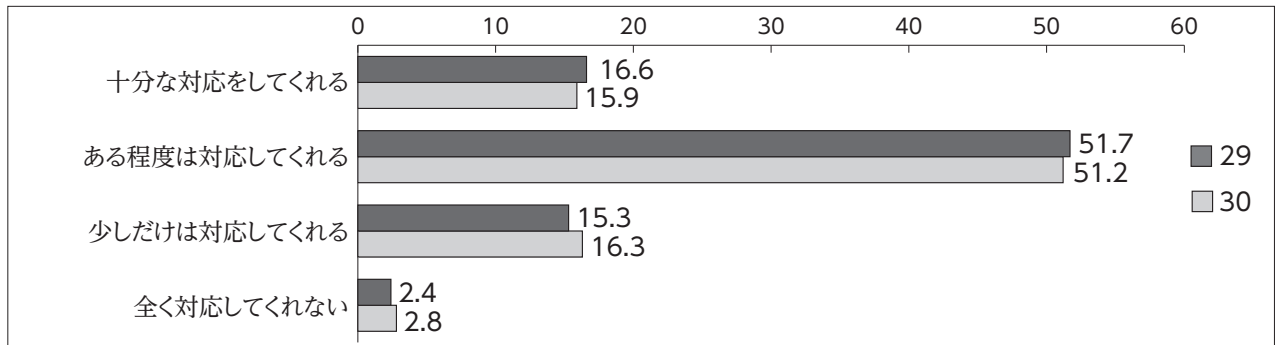
◆昨年度と同じような傾向だが、「取れていない」と回答した小学校の保護者が微増している。

【問 9】学校に相談事があるとき、気軽に時間をとってもらえる雰囲気ですか。



◆わずかではあるが、「気軽に相談できる」と感じる保護者が増えているのは望ましいと考える。

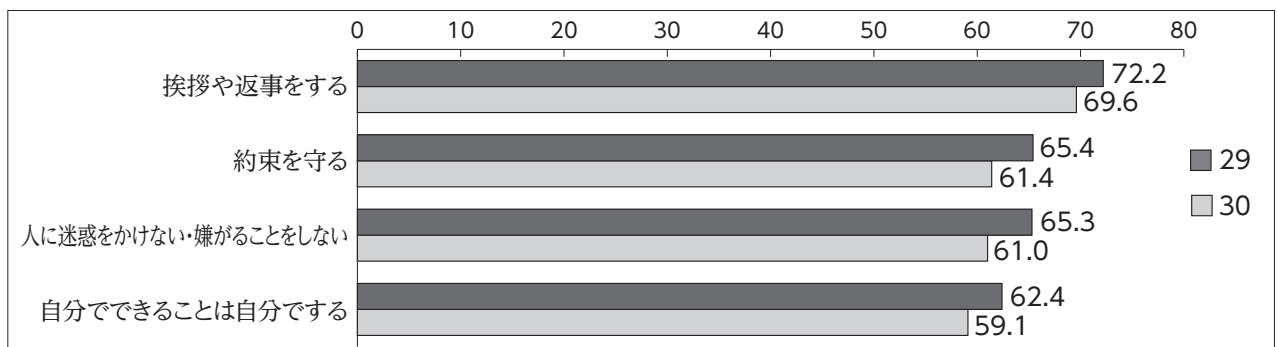
【問 12】 仮にいじめなどの問題が起きた場合、子どもの通う学校は適切に対応してくれると思いますか。



◆否定的な回答が若干増えているのが、気になるところである。

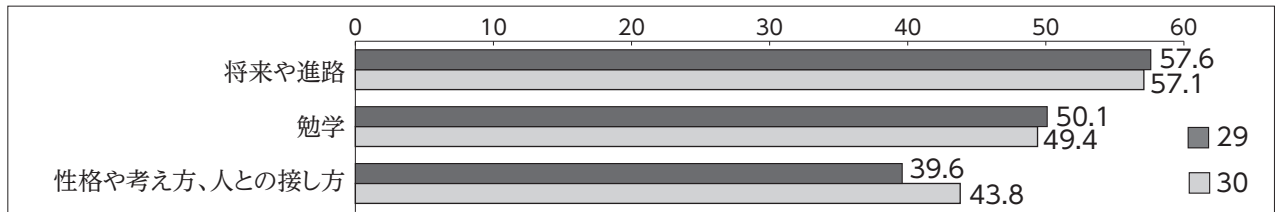
3 家庭教育について

【問 18】 あなたの家庭で、子どもに対してふだん口にして教えていることは何ですか。(上位項目)



◆全体的に割合が減り、「さほど言わない、ほとんど言わない」という保護者が増えている。

【問 21】 子育てについて、どのような悩みや不安がありますか。(上位項目)



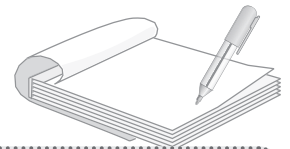
◆上位3項目は昨年度と同じだが、「性格や考え方、人との接し方」という回答が増えている。

4 自由意見 (今年度、特に意見の多かった5項目、()の数字は昨年度の順位)

1	学習環境、教員の指導力の向上を望む意見	76件(3)
2	教員の質の向上、教員の置かれた環境改善などの意見	66件(1)
3	PTA活動についての意見	41件(5)
4	家庭の子どもへの教育力と親自身の向上を望む意見	31件(4)
5	子どもの安心・安全についての意見	29件(19)

◆特に目を引くのが、「子どもの安心・安全についての意見」の大幅な増加で、重大な関心を寄せていることがうかがえる。一方、「情報機器やインターネットの影響」についての意見は減り、社会の状況を反映していると考えられる

日本PTA・子どもとメディアに関する意識調査

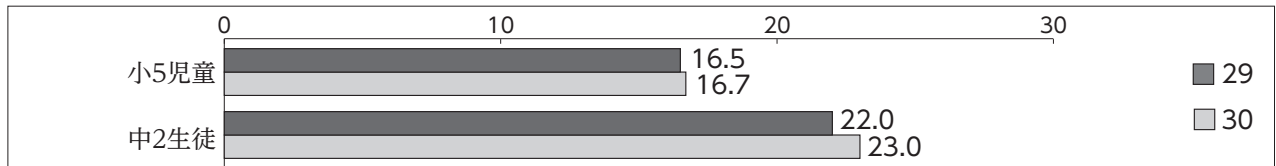


- 1 回答数 全国の小学5年生(2,429人)とその保護者(2,309人)、中学2年生(2,403人)とその保護者(2,169人)
 岩手県の調査協力校は遠野北小学校と遠野中学校
- 2 集計 平成30年9月

調査結果 (一部抜粋)

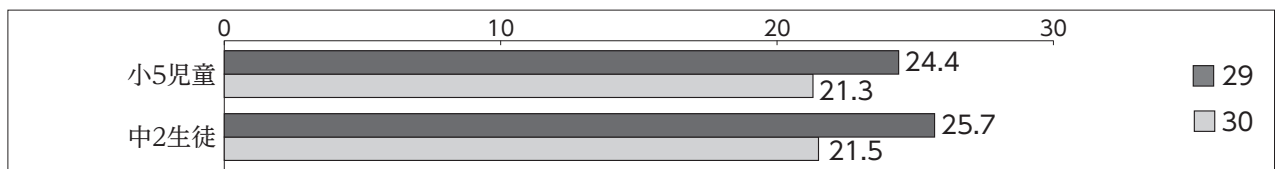
1 テレビ(録画・DVD・ワンセグを含む)の視聴について

【問1-1】「誰と見ることが多いか」のうち、「1人で」見る割合



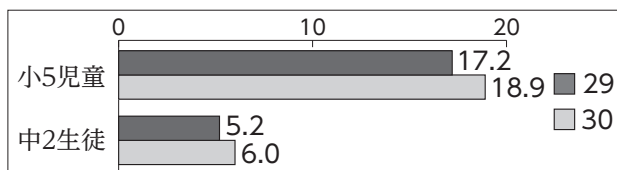
◆「一人視聴」の割合が、年々増えている。

【問1-3】「休日に見ている時間はどれくらいか」のうち、「4時間以上」見ている割合

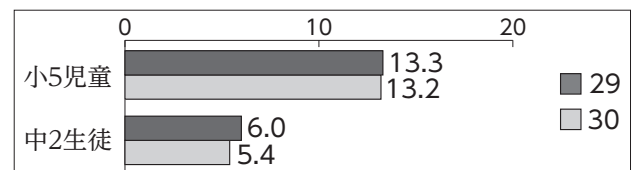


【問1-4】「視聴についての家庭内のルールがあるか」のうち、「長さ」と「内容」

視聴時間の長さに関するルールがある

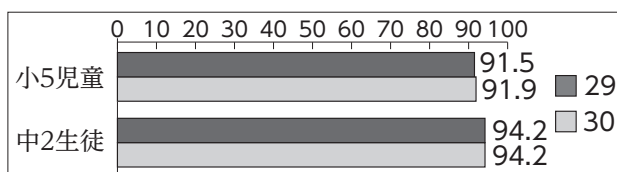


視聴内容に関するルールがある

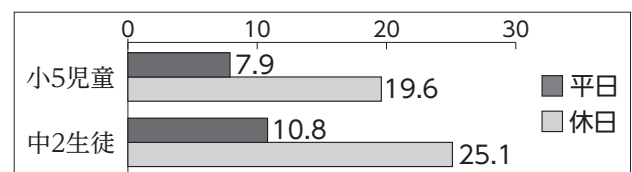


◆視聴時間、視聴内容にルールがあるという回答は多いとは言えず、休日の視聴時間も4時間を超えるのは、明らかに長いのではない。

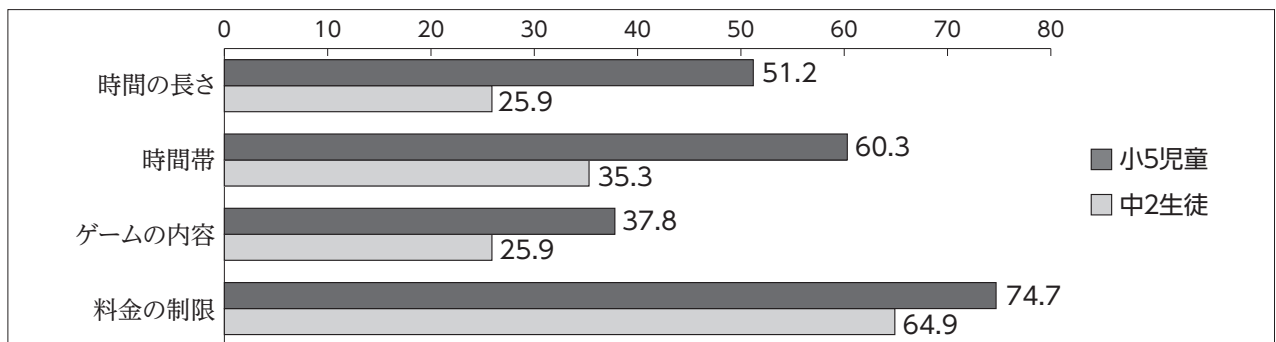
【問2-1】ゲームができる機器を持っているか



【問2-4】3時間以上ゲームをする割合

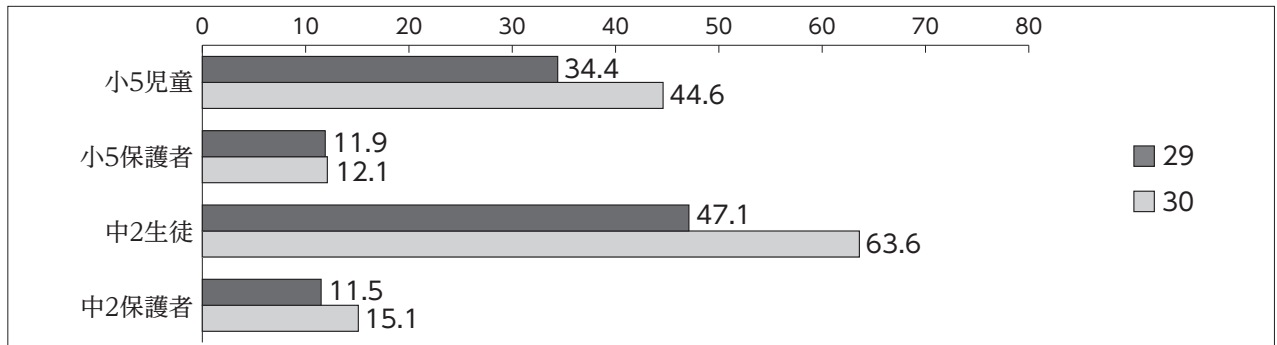


【問2-7】ゲームをすることについてのルールがある



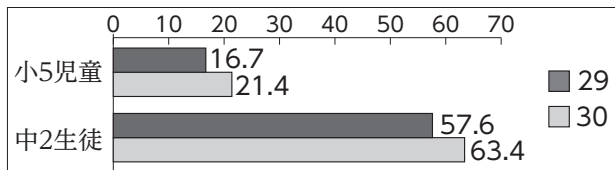
◆「時間の長さ」や「時間帯」など、中学生の制限が少ないようである。

【問 3-1】 スマホ・携帯電話は必要

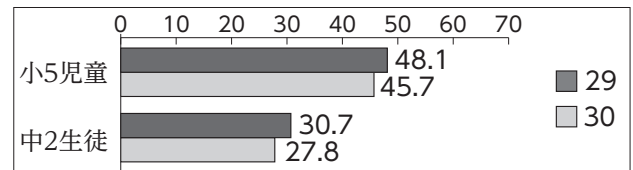


◆保護者よりも子どもの方が「必要」とする回答が大幅に増えている。

【問 3-2】 スマホを持っている



スマホも携帯電話も持っていない



◆小中学生ともに所有率が上がり、中2生徒では持っていない生徒が3割を切っている。

【問 3-4】 スマホや携帯電話を持った理由、持たせた理由の上位5項目

	小5児童	小5保護者	中2生徒	中2保護者
1位	保護者（家族）と連絡をとるため	保護者（家族）と連絡をとるため	保護者（家族）と連絡をとるため	保護者（家族）と連絡をとるため
2位	保護者（家族）に迎えを頼むため	迎えの連絡をさせるため	家族や友達とのコミュニケーションのため	迎えの連絡をさせるため
3位	ゲームで遊びたかったから	その他	部活動などで仲間と連絡をとるため	部活動などで仲間と連絡をとるため
4位	勉強や生活に役立つから	家庭の方針や保護者の指示で	SNSを利用したかったから	家族や友達とのコミュニケーションのため
5位	家庭の方針や保護者の指示で	子どもがゲームで遊びたかったから	ゲームで遊びたかったから	子どもがSNSを利用したかったから

【問 3-9】 スマホや携帯電話の使用についてどのようなルールがあるか（上位5項目）

	小5児童	中2生徒
1位	食事中は使わないなど使用方法やマナー	食事中は使わないなど使用方法やマナー
2位	個人情報や悪口は言わないなど使用内容	使用料金の制限
3位	使用料金の制限	個人情報や悪口は言わないなど使用内容
4位	使用の時間帯	使用通信容量
5位	使用通信容量	使用の時間帯

子どもとメディアに関する意識調査から、様々な問題が見えてきます。スマホや携帯電話、インターネットなどは大変便利なツールですが、闇の部分もあります。その扱い方には保護者自身の考え方や姿勢が反映されるのではないのでしょうか。子どもに任せっきり、預けっぱなしでは想定外のトラブルに巻き込まれる、巻き起こす危険性があります。ぜひ親子でじっくりと話し合ってもらいたいと思います。